

押しも

ついには

見良金良
街の価値
な

目を引く着物。

呉服屋には



現在の江戸時代は、かきく石川町で呼ばれた「問屋」の町であった。

江戸時代の職業訓練所
A vocational training site in the Edo Period



当時の日本橋には、関西や東海から来た商人の開いた生活用品などを扱う店が数多く立ち並びました。商売上手な彼らの活躍で、江戸は商業の町としても発展して、のちに生まれた大店が、現在まで続く二軒や大丸といった大手百貨店につながっています。

Merchants of western Japan who pioneered department stores

百貨店の原型をつくった西の商人

慶応で被災し築地に移転しました。1657年に築地町に千両が動くまでいわれていたが、関東大



オランダ人も来ていた日本橋地区



江戸の歌舞伎では荒事という様式が誕生し、江戸の人々の風土や気質に合わせて独自の発展を遂げました。

The rise of Edo Kabuki, plays for the townspeople

町人の娯楽・江戸歌舞伎の誕生

第57回 日本サインデザイン大賞／経済産業大臣賞 大賞セミナー

中央区立郷土資料館

CHUO CITY CHUO HISTORICAL MUSEUM

2024/01/11 Thu

15:30-
18:00-

【見学会】

会場：本の森ちゅうおう「中央区立郷土資料館」
定員：20名（事前お申込／先着順）
参加費：無料

【セミナー＋交流会／飲食を含みます】

会場：株式会社モリサワ東京本社
定員：50名（事前お申込／先着順）
参加費：裏面記載

第57回 日本サインデザイン賞

日本サインデザイン賞は、今回で第57回を迎え308点の作品の応募をいただきました。コロナ禍で途切れることなく、毎年こうして優秀なサインデザインを発表できたことは大変喜ばしいことです。作品を応募してくださった皆様、関係者、ご後援いただいた方々全てにこころより御礼申し上げます。今回の数ある優秀な作品の中から日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞に選ばれたのは「中央区立郷土資料館」です。図書館と融合した資料館ということで、本が並ぶ本棚をイメージしたという壁面は圧巻です。プロジェクターやデジタルサイネージのグラフィックスまで一貫したコンセプトでデザインされており、空間そのものがサインとなっているという点が大きく評価がされました。大賞セミナーとして、プロジェクトメンバーのお三人を講師に迎えプロジェクト作品への取り組み、デザインの背景について様々な角度から伺いたいと思います。（公益社団法人日本サインデザイン協会 / 会長 竹内誠）

中央区立郷土資料館 第57回 日本サインデザイン大賞／経済産業大臣賞

この度は大変栄誉ある賞をいただきまして誠にありがとうございます。図書館施設内という特性を活かして、「本を読む」という行為をそのまま展示体験に持ち込み、本棚を模した壁面に展開するグラフィックや実物資料、インタラクティブに楽しめるデジタルコンテンツの「配架」による空間を計画しました。「本」をかたどる棒状のパーツを文字や記号に変化させ、サインとしても展開し、館全体で統一感のあるデザインを目指しました。デザインのこだわりはもちろん、街歩きや関連書籍の読み込みなどのリサーチをするなど、関係者のみなさまとチーム一丸となって、プロジェクトに愛着を持って向き合ったからこそ受賞につながったと思っています。セミナーでは、本プロジェクトにおける、デザインプロセスやこだわりについて、お話ししたいと思います。（森北沙恵子氏）

森北 沙恵子 氏

講師 / 株式会社丹青社
デザイナー



明治大学大学院理工学研究科建築学専攻修了。主な受賞作品は、とこなめ陶の森資料館 日本空間デザイン賞 2022「Long List」、ふじのくに地球環境史ミュージアム企画展「大絶滅」日本サインデザイン賞 2020「入選」「中部地区賞」など。

加藤 剛 氏

講師 / 株式会社丹青社
クリエイティブディレクター



早稲田大学工学部建築学科卒業。主な受賞作品は、豊島区立トキワ荘マンガミュージアム第40回ディスプレイ産業賞 2021「特別賞」など。近年は、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館、坂井市龍翔博物館、澁沢史料館リニューアルなどを担当。

石河 孝浩 氏

講師 / 株式会社丹青社
デザイナー



筑波大学大学院芸術研究科修了。主な受賞作品は、ふじのくに地球環境史ミュージアム DSA 日本空間デザイン賞 2016「大賞」など。近年はつくばジオミュージアム、そなエリア東京リニューアル、八王子市博物館「はちばく」などを担当。



とこなめ陶の森資料館



豊島区立トキワ荘マンガミュージアム



ふじのくに地球環境史ミュージアム



中央区立郷土資料館 □クライアント：中央区 □ディレクション：加藤 剛 / 株式会社丹青社 □デザイン：石河 孝浩・森北 沙恵子 / 株式会社丹青社 □プロデュース：田沼 明・中尾 友莉恵・三宅 航平 / 株式会社丹青社
□プランニング：西園 記代子 / 株式会社丹青研究所 □グラフィックデザイン：大場 智博 / ひとつめデザイン □イラスト：白井 南風 / 株式会社リトルクリエイティブセンター □施工：株式会社丹青社 □撮影：栗原 平

イベント詳細／お申込み

Peatix 申込サイト



開催日：2024年 01月 11日（木曜日）

見学会

時間：15:30 - 16:30

会場：本の森ちゅうおう「中央区立郷土資料館」
東京都中央区新富1丁目13-14

定員：20名（事前お申込／先着順）

参加費：無料 / Peatixにてお申込みください。

※ 参加費は無料ですが、事前お申し込みをお願いいたします。
※ 見学会後、隣接「中央区立京橋図書館」の自由見学いただけます。

■ イベントに関する問合せ先：SDA事務局 E-mail:sda@sign.or.jp

セミナー + 交流会 / 飲食を含みます

時間：18:00 - 21:00

会場：株式会社モリサワ東京本社
東京都新宿区下宮比町2-27

定員：50名（事前お申込／先着順） Peatixにてお申込みください。

参加費：【会場】SDA会員・学生：¥3300（3000+300税） / 一般：¥3850（3500+350税）
【配信】SDA会員・学生：¥1100（1000+100税） / 一般：¥1650（1500+150税）

※ 会場参加費には交流会（飲食代）を含みます。
※ 配信のお申込みをされた方に、ZOOM URL を送付いたします。